

子山ホームだより

第83号



令和2年度 生活基本計画

園長 吉田 正浩

生活目標

子山ホームの理念に基づいた生活・支援を「意識」しましょう

子山ホーム基本理念

創設者ミス・エーネ・パウラス先生のキリスト教の愛の精神に基づき

- 1・感謝すること
- 2・信じること
- 3・待つこと
- 4・許すこと
- 5・笑うこと

生活の中で大人が感謝をすること、どれだけ感謝に気付けることがあるのかを意識してみましょう。また信じて裏切られることは沢山あることでしょう。そういう時こそ一度立ち止まって深呼吸をしてみたり、その場から離れてみたり、周りに助けを求めてみたり、そして再び信じましょう。私たちはいつい生活の中で待てずに答えを出したり、先回りしてしまうものですね。けれども自分に余裕があるときは待つことを意識して見てください。

私たちは大人になるまでの間、沢山の経験を重ねてきていると思います。その中でどれだけ許されてきたことでしょうか。さあ今度は私たちが許す番ですね。そして最後に笑うことを意識しましょう。笑いには心の緊張をほぐすこと、癌細胞をもやっつけてしまう力があります。生活の中にこそ笑いを意識してみましょう。

養育目標

「素直な心」を意識しましょう

令和2年度も「15歳からの養育」と「安全委員会方式」については基本的に、今後も柱に据えます。私たちの仕事は言うまでもなく子ども達との暮らしそのものです。生活を共にするということは、細かいことにも目が届きます。そうすると比較的马イナス面に目が向きがちになります。だからこそプラスの面に目を向けて「褒めて」いくこと、そして更に「褒めた」部分を強化し伸ばす養育を目指しましょう。

手始めに我々職員から先ず言葉遣いを意識してポジティブな言葉を使いましょう。また子ども達の主体性を育むために彼等の力を信じ、自尊心を高めることに目標を置き、行事をできる範囲で子ども達が企画・運営していく方向に舵を切りたいと思います。

そうなると職員サイドの「見守る」力が試されます。そしてそこに我慢・忍耐どこで介入するか否かの判断等々が出てきます。今までの常識とされてきたこと、それぞれ自分が積み上げてきたものを一度ぶち壊すくらいの想いと先ずは周りの声に耳を傾け聴く力・色眼鏡や先入観を取り払ってシンプルにフィルターなしで見聞きできる様に「素直な心」を意識しましょう。

別れとは新なる門出

3/8

送別会



16年開育ててくれた子山ホームのみなさんお世話になりました、そして、送別会を開いてくださりありがとうございます。

つっちゃん管野の担当になったのは、はみが中学2年生ぐらいの時でした。はみは超絶気分屋で、気分の浮き沈みが激しくつねに何かにイライラ。声をかけられれば舌打ち。毎日のように舌打ちでラップを刻んでいました。そんな威圧的な態度をとるはみを注意し、正してくれたつっちゃん。つねにホーム全体を見渡し、管野ホームみんなが気持ちよく過ごせるように環境を作ってくれてありがとう。

いつも「ねえさいて」から始まるはみの会話に夜遅くまで付き合ってくれたつっちゃん。同じ話を何度もするはみにツッコンでは笑って、ずっと聞いてくれてありがとう。やらないといけないことや、やりたくないことから逃げ、後回しにするはみに、声をかけては、たくさん後押しをしてくれたつっちゃん、かんちゃん。

アルバイトもたくさん声かけと後押しがあり、やっとバイト先に電話。バイトをすることができ、最後まで続けることができました。いつもはみの考えが甘々で、トンチンカンで、「大丈夫かな？」と不安にさせることが多くてごめんね。

この5年間、傷つけて怒らせてしまうことが多かったけど、笑って、ふざけて、楽しい時間をつっちゃん、かんちゃん、ホームのみんなと過ごしてきました。苦手な朝をしっかり起きて、遅刻せず会社に行きます。本当に大変お世話になりました。

相澤 速美



子山に来て7年がたちました。最初はわからないことだらけで、頼れる人もいなく、正直早く退所したいと思っていました。でも、そんな千尋に保育士さん、指導員さんや子山ホームの子たちは優しく接してくれましたね。あの時、本当に本当に嬉しかったです。あと、だいが子山に慣れたときいろいろやらしかてごめんなさい。でも沢山の人のためにわかってその分いっぱい叱られて、こんな千尋でもここまで成長することができました。いままで千尋に聞わってくれた人たち本当に感謝してます。千尋は子山に7年間もいれて幸せでした。みんな大好きです。本当にありがとうございました。

千葉 千尋

私が子山ホームにきてから早いものでもう16年が経とうとしています。私はこの子山ホームでの16年間で沢山の方々に迷惑をかけてしまいました。僕が小学生の時、学校で同級生を池に落としたり、授業に参加せずに三上教頭先生とサッカーをしていた時も、校長室で昼食を食べたときもありました。しかしどんなに悪くても安井さんは私を責めませんでした。

しかし、今だから気付いたことがあります。安井さんは私が悪さをしてしまったに相当悔しい思いをしていたと気付きました。小学5年の時に当時の米元ホームにいつてからも、米元さん、西本さんには大変迷惑をかけてしまいました。部活動やクラスでも色々と言いつつ、さうりがないこともしていました。一つ挙げるとするならば中学一年の時部活動でふざけて友達のことをけり、久我先生、長谷川先生にとでもしかられ、久我先生が米元ホームまで謝罪に来た時もあります。先生が来たときは米元さんも心が痛かったと思います。

高校に入學してからは友達関係のトラブルはあまり多くありませんでしたが、スマートフォンを持つようになってからは携帯トラブルが多くなった人にも迷惑をかけてしまいました。携帯の1ヶ月の使用料金が2万円をこえてしまうこともありました。私が高校3年生も終わりに近づき、内定も出た後に椅子で遊んで椅子から落ちて後頭部を打った時に園長室に行ったところ吉田園長に怒られたときに、私はどうして大人の人がきつく注意してくれるのかは、私が社会に出て失敗のない立派な大人になってほしいという想いがあるからだと思付きました。ソフトボールの時に私がグローブを投げたときに、道具を大事にできないやつはうちのチームにはいないと吉田さんに言われたことを思い出します。しかし、私はみなさんに八百屋さんのような応援や、気遣いあふれるガッツを見せられないと思うときみしくなります。

こんな色々問題ばかり起こす問題児でしたが、私をここまで成長させてくれたのは紛れもなく子山ホームの職員さんです。本当に16年間お世話になりました。

中村 勇気



称次金 美保

調理員

5月より調理に入りました称次金です。私は、これまで和食をはじめとして調理の仕事に20数年携わってきました。これまでの経験を活かして、子山ホームの皆様が「おいしい」といつも笑顔になってもらえる食事を提供できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



藤平 定子

調理員

4月から縁あってまた子山ホームで働くことになりました。これまで子山保育園で仕事をしていました。初心の気持ちを忘れず、一日でも早く仕事に慣れて即戦力まで行きませんが、今まで培ってきた経験と共にそれらを活かしていけるよう精進していきたいと思いますので、宜しくお願いします。



能 佳奈絵

保育士

今年度から保育士としてはたらかせていただいています能 佳奈絵です。インターンという形で入職と移住してきました。毎日多くの発見、体験です。

仕事面では月日がまだ浅いので研修や先輩と一緒に色々教えてもらいながら行っています。毎日が勉強です。しかし、私には気付かない事を子どもや先輩たちが発見し教えてくださるので、不安な事も多くありますが楽しく働かせていただいています。

私は、子どもの目線に立って物事を考え、その時のニーズに合わせて対応できる保育士になりたいと思っています。また、子ども一人一人ときちんと信頼関係を築いていき相談等も子どもの心に寄り添い安心感を与えられる存在になっていきたいです。至らないところも多々あるかと思いますが、精一杯頑張りますのでよろしくお願いします。

中3 行事

3/19・20

今年も3月19日から2日間館山市から房総半島最西端、最南端を通り子山ホームを目指す中3行事を行いました。コロナ対策として、検温の徹底、雨が降ったら中止という前提で雨雲から逃げる形で100キロを歩くのはとても過酷でした。ですが、1番前を歩いて皆を引っ張ってくれていた子のリタイア、リタイアした子に最後だけでも一緒にゴールしたいと説得する子、泣き言を言いながらも最後まで歩き抜いた子、歩く中で自分と向き合い自分について考えるうちに泣いてしまった子などたくさんのドラマがありました。様々なドラマを見ることができ一緒に歩いた大人にとっても実りのある行事となりました。

児童指導員 若林 越磨



100kmウォークをクリアしたくて、みんなを誘ったのに、自分が一番へばってリタイアする形になってしまって本当に悔しかったです。そして、周りのみんなには申し訳ないです。けど、自分は弱音をはかない、自分が誘ったのだからみんなを引っ張るという目標を自分の中で決めていました。クリアできれば高校生活での自信につながると思い真剣でした。ただ、弱音をはくくらいならと思い、帰るという決断をしました。高校生活が始まった今、挑んだという自信を胸に、三年間でも目標が達成できるよう努力し達成したいと思います。そしてまた卒業後に100kmウォークに挑戦してクリアします。

高1 TKさん

僕は、中3行事で頑張ったことは100km歩いた事と仲間とのコミュニケーションが取れたことです。お金の使い方も学びました。全員でゴールできなかったことは残念でしたが、自分自身ゴールすることができてよかったです。何事も諦めてはいけない事の大切さを知りました。また歩きたいです。その時、今度は全員で歩いてゴールしたいです。

高1 NAくん

僕は、この中3行事をやった理由はメンタルを鍛えたいと思い参加しました。最初はその目標をもとにがんばっていきましたが、歩いていくうちに、自分のメンタルだけではなく、みんなと笑ってゴールしたいとだんだん思いました。この中3行事で100km歩いたのはきつかったけど、みんなと助け合い100km歩くことができてとても良かったです。またこういう企画があれば積極的に参加したいです。

高1 DSくん

私の中3行事での一番の思い出は、二日目に寝坊をして出発の時間に合流をしたことです。

朝起きて外に出たら誰もいなかったのすごびっくりしました。遅刻した分は歩けなかったけど、それ以外は歩ききれたので良かったです。

高1 HOさん

己の限界を超えてゆけ

中3、小6行事とは…

それぞれの節目を迎えた子ども達が、今の自分たちに何ができるのか、どこまでやれるのか、大人と共に知り、またそれを今後の生活において自信として力に変えることのできる取り組みの1つです。

小6 行事

3/23・24

僕は、茨城県から子山ホームまで歩いてきました。すごく茨城県は長かった。僕は足が腫れてしまって途中で帰ったけど、初めて歩いてとても楽しかったです。

中1 YKくん

僕は、小6行事をやって、車、自転車などがとても楽に感じました。今回歩いた場所は、車で60kmで走ると渋滞していなかったとしても3時間20分の計算です。僕らは100kmを3日かけて完歩しました。また、子山ホームみんなが応援してくれて嬉しかったのが、白ご飯を持ってきてくれて食べたことです。途中でリタイアしてしまった友達もいたけど、その友達の方まで歩いて良かったです。たくさんの応援もありありがとうございました。

中1 RTくん



今年は茨城県の霞ヶ浦から子山ホームまで計112キロ歩いてきました。新型コロナウイルスも流行っている中で、細心の注意を払いながら行いました。

茨城県内は平坦で長い直線も多く、進んでいないように感じることも多々ある中で子ども達は元気に歩いていました。千葉県に入ってから元職員の自宅に TENT を張らせて頂き、寝泊まりしましたが、朝方雨が降っていたため出発を遅らせました。茨城もそうでしたが、千葉県に入ってから子ども達のペースは速く進んでいきました。終盤に差し掛かり、応援に来てくれる職員や子ども達もあり、その都度子ども達も元気を取り戻していました。リタイアが一人でもしてしまいましたが、その子もリタイアする直前まで最後まで歩く気持ちで頑張っていました。

色々なトラブルも起きた中で最後まで歩いた子達もまた素晴らしく良く頑張っていました。この先も100キロ以上を歩く経験はしないと思うのでこれを自信に変えてこの先の人生に生かしてもらえればと思います。

児童指導員 和田 直樹



心身共に新しく!!



3/22

進級会



3月22日、今年も進級会が行われました。新型コロナウイルスの影響で今回は残念ながら日頃お世話になっている外部の方はお呼びできませんでしたが、ホームにいるみんなで進級のお祝いをしました。

今年度の新小学生は1名、新中学生は2名、新高校生は6名、こども園入園児童は2名で計11名の子どもたちがそれぞれ進学の抱負を語りました。

来年はコロナウイルスが落ち着いたら外部の方も呼び、賑やかな進級会にしたいです。

児童指導員 小野寺 直樹

4/2・3

新高校生会



今年も新高校生会が行われました。コロナ対策をしっかりととして、二日間、高校生たちがホームの様々な約束について話し合いました。

4/4

多目的ホール兼衣料庫



多目的ホールのペンキを塗るのが楽しかったです。きれいにぬれたのが楽しくて、完成した時もきれいにぬれて良かったと思いました！

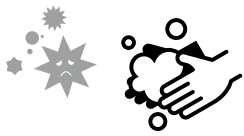
小6 KTさん

園長より

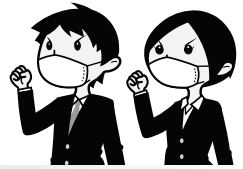
吉田 正浩

子山ホームを応援してくださっている皆さん、如何お過ごしでしょうか。前回の挨拶を書かせていただいたのが2月中旬、発行は3月24日でした。この間、世の中の動きは大きく変わりました。子ども達は2月29日から3月4月5月と休校になりました。5月の後半より分散登校が開始されたとは言え、通常の夏休みを考えると、ほぼ、その倍が休校となりました。その間、子ども達は良く耐えました。幸いにも子山ホームは土地柄、山の上にごさいますので、基本的には雨が降らない限りはグラウンドで幼児、小中高生、大人で毎日の様に鬼ごっこ系の遊びで駆け回りました。基本的に土日を中心に午後からは小学生はソフトボールの練習をしました。小学生の夜はしっかり夢の中だったと思います。高校生達も有志で小学生の勉強や園内保育の幼児さん達をみてくれました。とてもいい経験となりました。そして、さらに頑張ってくれたのは全職員です。毎日が

終わりのない休校、休園の中で、本当に良く頑張ったというか踏ん張ってくれました。おかげさまで子ども達も職員も、大きく体調を崩すことなく再登校を迎えることができました。そして現在も元気に登校しております。世界では、まだまだ新型コロナウイルスが広がっており、日本においても、このところ増加傾向です。私たちも「新しい生活様式」を身に付け、国土交通省・観光庁が提示した「新しい旅のエチケット」を参考に、楽しむところは楽しむ、気を付けるところは気を付ける。「自粛ではなく自制」を心がけて、心にもメリハリをつけ毎日に臨みたいと思います。「コロナを持ち込みたくない、持ち込ませない」努力を続けたいと思います。最後になりましたが大変な時期が続く中、子山ホームに励ましや沢山のご寄付頂いた事、紙面をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。どうか皆さんもお身体ご自愛ください。



暑さに負けず 寒さに負けず コロナに負けず



子山ホームでは、園内におけるコロナ対策もそうですが、卒園していった卒園生たちも、緊急事態宣言が発令されてからすぐに子山ホームにきて過ごしている卒園生が何人かいました。

今、自身たちが何を感じているのか書いてくれたのでお伝えしたいと思います。

私は今、舞浜にあるヒルトンホテルベイで働いています。部署はレストランの入り口に立ち、席まで案内したり、お会計をするところです。今年の3月からコロナの影響で来客数が減り、休みが増え、4月からはコロナ休暇という名目で働いていません。こういう状況になる前から時々子山ホームには顔を出していました。自宅で退屈な日々を過ごすよりこっちに來たほうが時間を友好的に使えと思ったのでここで過ごしています。

卒園生 山田 麻代

私は今市川市内にあるイベント会社に勤めています。4月の頭に緊急事態宣言を出されたから1、2週間は家に居ましたがそれが苦痛でホームに泊まりに来ています。ホームでは1日3食手作りのご飯を食べることができてとてもありがたく思っています。会社の臨時休業がいつ明けるのかは未定ですが、その間は健康に気を付けたいです。

卒園生 石橋 武人

子山ホームで過ごすこと

前代未聞のこのコロナウイルスに対して、安部首相の要請により、子ども達が通ういすみ市の小中、そして高校でも2月28日登校後、29日より不要不急の外出禁止と共に約3カ月間休校になりました。その間、特別登校は1カ月に一度もしくは二度の割合でありました。3月や4月の大事な式典である卒業式も入学式も規模を縮小し、人数も最低限の人数で行われました。

その騒動の中、緊急事態宣言と共に子山ホームでも、独自の緊急対策が発令され、職員、子どもたちも自粛の生活をしていきました。外出はできませんでしたが、子ども達はどうやって過ごしたのか聞いてみたので載せたいと思います。

- ・ゲームをいっぱいした
- ・漫画をいっぱい読んだ
- ・ダンスをした
- ・バスケットを楽しんだ
- ・音楽を聴いた
- ・ペーパークラフトをした
- ・勉強を頑張った
- ・秘密基地を作った
- ・トランプをした
- ・子山ホームの下の川で釣りをした
- ・ソフトボールを頑張った



幸いなことに、子ども達の居住地である、子山ホームの園庭やグラウンドでは、職員の付き添いの元、室内に籠らず、青空の下、外に出て楽しむことができたかなと思います。ただ、大好きな買い物に関しては頑張って自粛し、職員も子どもたちも貯金が多まったかなと思います。笑

職員においては、子ども達が常にいる中、食事も毎日3食となり、様々な職種の職員がこどもたちの対応に日々追われましたが、皆一丸となって、誰一人倒れることなく、この事態を乗り越えてきました。しかし、まだまだこれから油断は禁物。毎朝の検温、手洗い、うがい、消毒等、注意に注意を重ねていきたいと思っています。

又今回の事で、多くの子山ホームを応援してくださる皆さまから子山ホームを心配して頂き、紙マスク、手作りマスク、消毒スプレー等々その他にも沢山のご寄付を頂きました。心より御礼申し上げます。

今回のコロナウイルスの流行を受け、世の中は大きく変化しつつあります。子山ホームとしては常に将来を見据えた上で、子ども達一人一人にとって何が大切かを一番に考えて、子どもたちと共に職員一同、様々な困難を乗り越えてゆきたいと思っています。

子山ホームを応援して下さい多くの皆様も様々な苦しい状況に置かれている方もいらっしゃると思いますが、子ども達は毎日素敵な笑顔を振りまいてくれています。

子ども達の笑顔や元気に園庭で遊ぶ姿を思い浮かべて頂き、少しでも皆様の気持ちがあがっていただけたらと思います。

皆さまへの多くの感謝と日々の健康を祈りつつ、子山ホームのコロナ対策の報告でした。

保育士 吉田 百合子



出張!! 子山子ども写真館



子山ホームでは写真を撮るのが好きな子が大勢います。素敵だなと思った写真はツイッターやホームページにて更新しておりますので、ぜひごらんください。

白黒ではありますが、何枚かお載せします。



夏だね！



シュート!!



学校が始まる



陽の光に照らされて



2019年度 会計報告

平成31年4月1日～令和2年3月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
措置費収入	299,691,266	人件費支出	204,775,316
補助金事業収入	9,710,870	事業費支出	58,863,751
経常経費寄付金収入	2,997,500	事務費支出	39,964,215
受取利息配当金収入	41	利用者等外給食費支出	5,124,750
受入研修費収入	373,751	固定資産取得支出	1,097,580
利用者等外給食費収入	5,124,750	積立資産支出	9,007,475
雑収入	1,720,799	拠点区分間繰入金支出	700,000
施設整備補助金収入	127,000		
事業区分間繰入金収入	191,751		
合 計	319,937,728	合 計	319,533,087

後援会報告について

いつも春先に行っていた後援会報告ですが、コロナウイルスの影響もあり今年度は9月の開催となりました。次回10月発行の子山ホームだよりに載せる予定です。ご了承ください。

子山ホームバザーについて

毎年10月に開催しております子山ホームバザーですが、コロナウイルスの影響もあり、開催について検討中です。ツイッター等でまたお知らせいたします。しかし、バザー用品はいつでも引き受けております。ご家庭で眠っている品物等がございましたら、お気軽にご連絡ください。

☎0470-62-2325

●チャリティーコーナー

敬称略、順不同（令和2年2月17日～令和2年6月23日）

個 人			団 体	
藍野悦子	浅香良太	藤井将	子山ホーム後援会	ビーテック株式会社
長谷川政二	吉田	水島一成	明治乳業	(株)たかくら新産業
石川雅彰	石川しょうじ	片倉由里子	みのりの会	鈴木輪業
白井	川野遼	関	大美屋	特別養護老人ホーム愛恵花
山田恵美子	河崎	匿名希望	KIKUYA 千葉店	ビビット南船橋
坂東君子	中村喜子	高橋	天徳寺	(株)フレーベル館
松ヶ谷 隆	金城	新山ふじ子	デルタ航空	セカンドハーベスト
巨人の星	市原 浩一	渡辺弓子	株式会社チュチュアンナ	サンキュー印刷
左草 哲	杉鈞	小笠原功勇	フィリップモリス	日本コカ・コーラ
千葉	石川浩一	勝山知子	東昭建設	日本航空
石川ゆかり	岩瀬	宇田川温子	せきとく	株式会社カーブスジャパン
中根	川名雅之	桶田真由子	いすみ市 福祉課	平和園
杉岡淳子	緑川加代子	伊藤幸夫	株式会社ナインブロック	ゴールドマンサックス社
武宮三千雄	渡邊	星弘信	(有)ダスカジャパン	東京ボランティア 市民活動センター
道家尚已	今井かずえ	能義之	ソニー生命	NPO法人タイガーマスク基金
松崎宜哉	門司一徹		東栄物産株式会社	
石井	本間京子		キッザニア東京	
会津	椎名真弓		NPOニコニコサズ	
荒井ふみ子	岩下聡美		大原中学校	

ボランティアの方々

※令和2年2月16日～令和2年7月1日までの間で活動して頂いた方々です。

・ブリッジフォースマイル ・ソニー生命



◆◆令和2年度後援会名簿◆◆

(令和2年3月13日～
6月13日)

- ・株式会社 フォレスト
- ・井爪 よし子
- ・梶永 光洋
- ・井爪 康雄
- ・マームジャパン株式会社
- ・小宮山 弘美

※後援会費の振り込み用紙は、送付の作業上全員の方に同封してあります。会費は任意ですので、ご了承下さい。

※上記の名簿は令和2年3月13日～6月13日までに納入された方で、それ以降、納入された方は記載されていません。

▽編集後記▽

前の号より早4か月が過ぎ、その間には緊急事態宣言による外出自粛の影響で、ステイホーム、家で過ごすことが増えました。子ども達が漫画やスマホを読んだり、活していたように、私も漫画を読んだり、写真について調べたりすることでステイホームしていました。過ごしてみてもどうでした？と問われると、やはり外に遊びに行けないことは退屈でした。それでも、子どもも大人も一人一人が生活を通じてお互いのことを知れたのかな？と思っています。

さて、そんな自粛期間中でしたが、子ども達は日常の中に多くの物語があることを教えてくれました。出張！子山写真館ということで前のページにも掲載しましたが、多くの写真を撮り、あれがいいねこれが好きなんだと教えてくれます。炭が熱されて赤く燃えている色が好きだったり、水がパシャッとはねているのを撮るのに夢中な子がいったり、発想が豊かで毎日発見であふれています。

そんな子ども達の想像を形にすべく、今後私も自身が様々なことにトライしていこうと思っています。

△K・S△

子山ホームだより 第83号

発行日：令和2年7月31日

社会福祉法人

チルドレン・パラダイス

児童養護施設 子山ホーム

千葉県いすみ市深堀685番地

TEL 0470-62-2325

FAX 0470-62-8828

Eメール info@h-koyama.or.jp

http://www.h-koyama.or.jp/